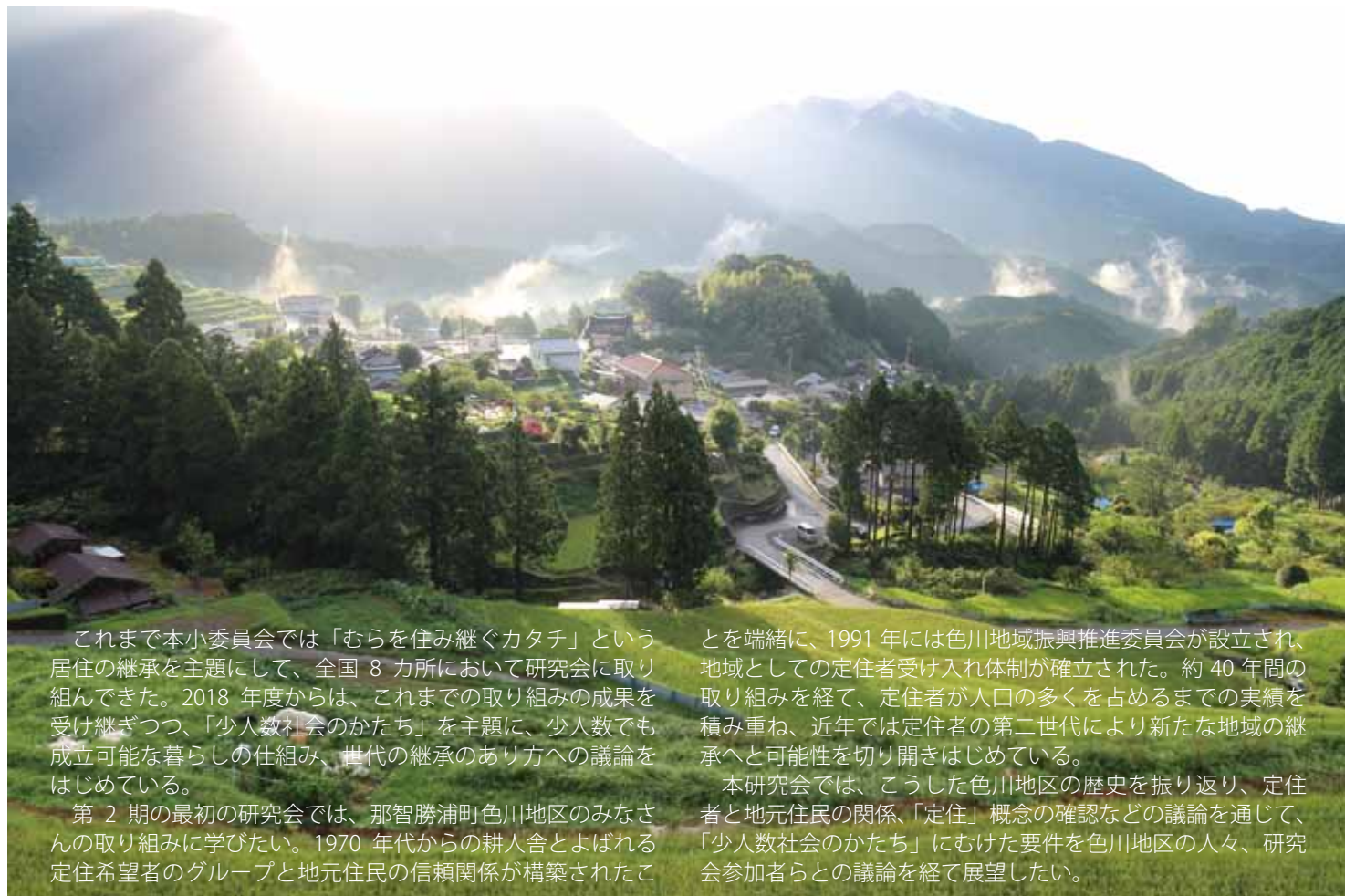


研究会：少人数社会のかたち #01

定住者と地元住民のこれまでとこれから — 那智勝浦町色川地区の 40 年 —

日本建築学会 農村計画委員会 集落居住小委員会
2019年3月16日(土) 16時00分～18時30分
那智勝浦町色川地区(口色川会館)



これまで本小委員会では「むらを住み継ぐカタチ」という居住の継承を主題にして、全国 8 カ所において研究会に取り組んできた。2018 年度からは、これまでの取り組みの成果を受け継ぎつつ、「少人数社会のかたち」を主題に、少人数でも成立可能な暮らしの仕組み、世代の継承のあり方への議論をはじめている。

第 2 期の最初の研究会では、那智勝浦町色川地区のみなさんの取り組みに学びたい。1970 年代からの耕人舎とよばれる定住希望者のグループと地元住民の信頼関係が構築されたこ

とを端緒に、1991 年には色川地域振興推進委員会が設立され、地域としての定住者受け入れ体制が確立された。約 40 年間の取り組みを経て、定住者が人口の多くを占めるまでの実績を積み重ね、近年では定住者の第二世代により新たな地域の継承へと可能性を切り開きはじめています。

本研究会では、こうした色川地区の歴史を振り返り、定住者と地元住民の関係、「定住」概念の確認などの議論を通じて、「少人数社会のかたち」にむけた要件を色川地区の人々、研究会参加者らとの議論を経て展望したい。

次 第：

- 1) 16:00 開会挨拶・趣旨説明：佐久間康富(和歌山大学)・新宅伸一(色川地域振興推進委員会会長)
- 2) 16:05 事例紹介(10分)：「これまでの各地の住み継がれるカタチ」佐久間康富(前掲)
- 3) 16:15 話題提供(各15分程度)
 - ・「取り組みの概要」大西俊介(色川地区集落支援員)
 - ・「色川地区の取り組みのこれまで」原和男(色川地域振興推進委員会副会長)
コメント：大久保通(色川地域振興推進委員会定住班長)
 - ・「色川地区の取り組みの現在」新宅伸一(前掲)
コメント：浦勝良(色川地域振興推進委員会副会長)・尾林康夫(色川地域振興推進委員会会計)
 - ・「鳥獣害対策の取り組みとこれから」発表者調整中
- 4) 17:15 ディスカッション：話題提供者+委員会メンバー
- 5) 18:25 まとめ：平田隆行(和歌山大学)

主 催：日本建築学会農村計画委員会・集落居住小委員会

日 時：2019年3月16日(土) 16:00～18:30

会 場：口色川会館(和歌山県東牟婁郡那智勝浦町口色川2488)

交 通：JR 紀勢本線・紀伊勝浦駅よりレンタカー等で約45分

参加費：会員1,000円、会員外1,500円、学生500円

定 員：20名(申し込み先着順)

申 込：参加申込フォームからお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/63ee4xTZvIpSpoCx2>

(または右のQRコードから)

締 切：3月9日(土)

問合せ：佐久間康富(和歌山大学)

sakuma@sys.wakayama-u.ac.jp

